

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—	
事業毎の通番		12		市町村名		千曲市	
事業目的		千曲市小島区は、しなの鉄道屋代駅に近く、千曲市でも人口集中区域である。当該溪流は、H25年台風18号の際、下方市道へ土砂が流出するなどの被害を与えた。当該溪流内には未だ不安定土砂が堆積しており、今後の降雨により再度流出する恐れがあることから、谷止工を施工し、不安定土砂の固定と渓床の安定を図りたい。また、周辺山林は、松くい虫被害により、上層木がなくなり、表土が流出しつづることから、合わせて山腹工を施工し、表土の安定を図る。		箇所名(ふりがな)		小島(おじま)	
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1地域防災力の向上(災害に強い森林づくり)		事業実施の根拠法令等		森林法	
関連する事業、計画等		急傾斜地崩壊対策事業(近接地)					
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家17戸(小島団地)、市道50m、鉄道50m(しなの鉄道)					
着手年度		平成27年度		事業期間		2年間	
完成年度(見込み)		平成28年度		事業費(千円)		財源内訳(千円)	
全体事業内容(主な工種)		谷止工3個 山腹工0.20ha 斜面補強土工200㎡		費用対効果		9.00	
年度事業内容(主な工種)		谷止工3個		国庫		19,500	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的)		間接的効果(定量的・定性的)		17,550	
		人家17戸、市道50m、鉄道50mの保全				11,700	
必要性		○人家戸数:		17戸		評価	
		○公共施設数:		2ヶ所 市道、しなの鉄道		B	
		○災害時要援護者関連施設の有無:		なし			
		○保安林・林業用施設:		一部あり(22%)			
重要性		○過去の災害履歴:		あり H25.9 台風災		評価	
		○交通遮断による地域経済への影響:		影響度大 人家密集地のため影響大		A	
		○地域防災計画上の位置付け:		あり			
効率性		○費用便益比(B/C):		9.00		評価	
		○事業期間:		2年 (H27~H28)		A	
		○工法等の比較検討:		あり ノンフレーム工法を含む三案比較			
		○流域の総合調整:		なし			
緊急性		○流域の地形、地質:		第3紀層泥岩		評価	
		○平均渓床勾配(平均山腹勾配):		平均渓床勾配8.5°		A	
		○下流の堰堤等の整備状況:		なし			
		○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域:		216-30A			
計画熟度		○事業情報の共有:		地元区長、市町村と現地打合		評価	
		○地域の取り組み:		千曲市、地元区から事業計画に対し要望がある		A	
		○地域の合意形成:		現地打合の際、周辺関係者との合意形成が図られている			
		○住民との協働:		住民参加型の事業(維持管理に住民参加が見込まれる)			
部意見		H25年9月台風18号災により団地内の市道へ土砂が流出した。下方に人家等があり、早急に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		今後の降雨等で不安定土砂の再移動が想定され、保全対象に被害をもたらす恐れがあることから、重要性が高く、緊急性も認められる。	
				評価結果		総合評価	
				○		A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
事業概要説明図表	
【整備の必要性がわかる状況写真等】	
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地域は、第3紀層泥岩地帯であり、地質は脆弱で、表土流出が懸念される地域である。周辺の沢では、過去に土砂災害が発生し、治山施設が設置されている。また、松くい虫被害により、上層木のアカマツがなくなり、表土がむき出しになっている箇所があり、表土の流出も懸念される。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	市町村からの要望により、平成26年7月10日に千曲市、地元区長、地元関係者と現地踏査を実施した。
③事業説明等の経緯	住宅集中区域であるため、工法を検討した後、具体的な対策工事内容について地元説明会等を開催し、地域住民等関係者と調整を図りながら事業を行う。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	当該区域北側の屋代駅裏周辺については、急傾斜地崩壊対策事業により落石対策事業を実施(H26)。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	人家近接地であることから、景観に配慮した山腹工(斜面補強土工)を施工。また、事業導入により、地域住民の防災意識の向上を図る。
⑥地域活性化への影響と配慮	
⑦その他	
事業代表地点の緯度経度	
北緯:N	36.528433
東経:E	138.130739